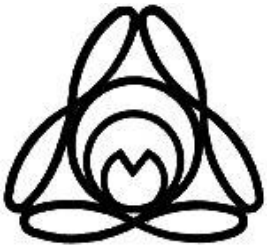
沿　革



北　広　島　消　防　の　歴　史

私設消防時代

大正　２年　５月	広島村初の火防組合が結成された。
大正　７年　３月	火防組合が解散し、これに代わり私設消防組が発足。 消火資器材として、トビ、布袋等を使用したと伝えられる。
昭和　９年　７月	消防組が改組され、消火機材に腕用ポンプを導入した。
昭和１０年　４月	寄付等で運営されていた消防組に村費より初の補助があり、新たに腕用ポンプ及びホース、布製タンク、布製バケツ等を購入した。

公設消防時代

昭和１２年　２月	議会で広島村消防組の設置が決定され、東部地区に第１分団、西部地区に第２分団を配置した。
昭和１４年　４月	戦時態勢により消防組と防護団が併合され広島村警防団を設置し、火防の他、灯火管制、警報を任務とした。
昭和２２年　７月	終戦により広島村警防団が解散し、新たに広島村消防団を設置した。
昭和２４年　３月	初の消防ポンプ自動車（三輪車）が導入され第１分団に配置した。また、腕用ポンプは第２分団に配置した。
昭和２７年１２月	広島６３番地に第１分団の総合的な消防会館が竣工し、機材置場及び管理人住宅を併置した。
昭和２８年　２月	ポンプ自動車（四輪車）を第１分団に配置し、三輪自動車は廃車。
昭和３２年　２月	可搬動力ポンプを第２分団に配置した。
昭和３３年　２月	可搬動力ポンプを第１分団に配置した。
昭和３４年　３月	第２分団にポンプ運搬用の三輪自動車を配置した。
昭和４０年　８月	第２分団の機材置場を改築し、四輪ポンプ自動車を配置した。
昭和４３年　１月	大曲地区の発展に伴い第３分団を配置した。
昭和４９年　４月	西の里地区の発展に伴い第４分団を配置した。

近代消防時代

昭和４９年　４月	町の発展に伴い広島町消防本部及び消防署が、政令による常備体制の指定に基づき発足した。
昭和４９年１２月	消防庁舎が現在の北進町１丁目に竣工した。
昭和５０年　８月	署に救急車を配置し救急業務を開始した。（車両は北海道共済連より寄贈された）
昭和５２年　３月	署に小型動力ポンプ付水槽車（水槽容量10ｔ）を配置した。（防衛施設庁の補助による）

昭和５２年　７月	町内の医療施設により内科、小児科の夜間休日の当番医療体制が開始され救急医療体制が充実した。
昭和５２年１２月	署にはしご付き消防ポンプ自動車（30㍍級）を配置した。
昭和５４年　８月	北海道消防協会札幌地方支部消防総合訓練大会を当町（広葉中学校）で開催した。
昭和５４年１０月	道央自動車道の札幌南インターチェンジと北広島インターチェンジの開通により、第３分団詰所に職員３名を常駐させ、救急車１台を配置した。
昭和５５年１２月	大曲地区の発展に伴い、消防署大曲出張所を開設（第３分団詰所併置）し職員１１名と水槽付ポンプ自動車、救急車、ポンプ自動車（第３分団）を再配置した。
昭和５６年　４月	夜間急病センターが開設（診療科目は内科、小児科）された。
昭和５６年　６月	予防業務の拡充に伴い、本部に広報車を導入した。
昭和５７年　９月	無線電話の基地局を富ヶ岡（北広島リハビリセンター）から大曲（大曲出張所）に移設した。
昭和５７年１０月	消防指令装置（　Ｉ　型　）を導入した。
昭和５８年　７月	全道消防救助技術訓練指導会に初参加した。
昭和５８年　８月	消防無線電話装置に全国共通波を増設した。（基地局は、消防本部に配置した）
昭和６２年　７月	消防署の機構改革により副署長を配置した。
平成　２年　３月	消防署に救助工作車を配置した。
平成　２年１０月	消防署の気象観測装置を更新した。
平成　４年　８月	無線サイレン吹鳴装置を更新した。
平成　５年　４月	在宅当番医の自動案内装置が導入され、運用を開始した。
平成　５年　６月	消防無線電話装置基地局（全国共通波）を更新した。
平成　５年１２月	西の里地区の人口増加に伴い、消防署西の里出張所を開設（第４分団詰所併設）し、水槽付ポンプ自動車を配置した。
平成　６年　５月	救急救命士第１号が誕生する。
平成　６年１１月	救急車２台に患者監視装置が装備され、応急処置拡大９項目中７項目の実施体制となる。（心電図電送を除く）
平成　８年　６月	消防団に初めて女性消防団員１０名を採用した。
平成　８年　８月	全国消防救助技術大会（札幌市）に初参加した。
平成　８年　９月	市制施行に伴い、北広島市消防本部及び消防署と名称変更した。
平成　８年１０月	消防職員委員会が発足した。
平成１３年　３月	第１分団詰所を改築した。
平成１３年　７月	消防署の水槽付消防ポンプ自動車を化学消防ポンプ自動車に更新し、はしご付消防自動車（38m級）を更新した。

平成１３年　８月　　札幌圏防災関係機関合同訓練を実施した。（大曲工業団地）
平成１４年　３月　　消防本部・消防署の増築庁舎が完成した。（RC３階建136,144㎡）
平成１４年　６月　　北海道消防協会札幌地方支部消防総合訓練大会を当市で開催した。
平成１５年　３月　　消防緊急通信指令施設（ Ⅱ 型 ）を導入、運用を開始した。
平成１５年１１月　　大曲出張所の救急車を高規格救急車に更新した。
平成１７年１２月　　本署の高規格救急車を更新した。
平成１９年　４月　　非常時の災害復旧の拠点として北広島市防災センターが共栄586-10に設置された。
平成２０年　３月　　本部の広報車を調査車として更新した。
平成２１年　３月　　本署の救助工作車を更新した。
平成２３年　３月　　本部の指揮車を更新し、使用していた車両を連絡車として運用を開始した。
平成２３年１０月　　大曲出張所の高規格救急車を更新した。
平成２４年　３月　　本部に資機材搬送車を導入し、小型ポンプ付水槽車を更新した。
平成２５年　２月　　大曲出張所の水槽付消防ポンプ自動車を本市初のＣＡＦＳ装置を搭載した水槽付消防ポンプ自動車に更新した。
平成２６年　１月　　本署の高規格救急車を更新した。
平成２６年　３月　　消防救急デジタル無線を石狩振興局管内の６消防本部で共同整備し、運用を開始した。
平成２６年　３月　　高機能消防指令システム（離島型）を更新整備し、運用を開始した。
平成２６年　８月　　大曲地区の人口増加や大型商業施設の進出に伴い、大曲出張所（第３分団詰所併設）を移転し運用を開始した。
平成２７年　２月　　西の里出張所の水槽付消防ポンプ自動車をＣＡＦＳ装置を搭載した水槽付消防ポンプ自動車に更新した。
平成２７年１２月　　第３分団の消防ポンプ自動車を救助資機材を搭載した小型動力ポンプ付積載車に更新した。
平成２８年　４月　　公益財団法人北海道消防協会札幌地方支部内消防団相互応援協定を締結した。
平成２８年１１月　　北海道消防表彰に於いて優良消防団表彰旗を受章した。
平成２８年１２月　　第１分団の水槽付消防ポンプ自動車を救助資機材を搭載した小型動力ポンプ付積載車に更新した。
平成２９年１２月　　第４分団の水槽付消防ポンプ自動車を救助資機材を搭載した小型動力ポンプ付積載車に更新した。
平成３０年　３月　　消防功労者消防庁長官表彰に於いて表彰旗を受章した。

平成３０年１１月　第２分団の水槽付消防ポンプ自動車を救助資機材を搭載した小型動力ポンプ付積載車に更新した。
平成３１年　２月　大曲出張所の高規格救急車を更新した。
平成３１年　４月　消防本部に初めて女性職員を採用した。
令和　元年　６月　夜間急病センターが移設した。
令和　２年　４月　消防本部に２人目の女性職員を採用した。
令和　３年１０月　高規格救急車の寄贈を受け、本署の救急車を更新した。

協力団体関係

昭和５９年　１月　大曲地区に婦人防火クラブを結成した。
昭和５９年　５月　広島町防火委員会を結成した。
昭和５９年　９月　東部地区に幼年消防クラブを結成した。（広島大谷幼稚園）
昭和６０年　７月　大曲地区に幼年消防クラブを結成した。（大曲大谷幼稚園）
昭和６０年１０月　東部地区に幼年消防クラブを結成した。（広島幼稚園）
昭和６０年１２月　ひろしま少年消防クラブを結成した。
昭和６１年　３月　東部地区に婦人防火クラブを結成した。
昭和６２年１０月　西の里地区に幼年消防クラブを結成した。（西の里きらきら保育園）
昭和６３年　５月　広島町危険物安全協会を設立した。
平成　元年１０月　日本防火協会より幼年消防クラブ（広島大谷幼稚園）に鼓笛隊セットが寄贈された。
平成　４年　２月　東部地区に幼年消防クラブを結成した。（天使幼稚園）
平成　４年１０月　日本防火協会より幼年消防クラブ（大曲大谷幼稚園）に鼓笛隊セットが寄贈された。
平成　５年　９月　第１１回婦人防火全国大会（夕張市）に２婦人防火団体が出席した。
平成１０年　５月　北広島市危険物安全協会創立１０周年
平成１１年　５月　輪厚地区に幼年消防クラブを結成した。（輪厚保育園）
平成２０年　５月　北広島市危険物安全協会創立２０周年
平成２２年　９月　北海道・東北ブロック婦人（女性）防火クラブ連絡協議会に出席した。（２名）
平成２４年　６月　西の里地区に婦人防火クラブを結成した。
平成２８年１１月　北広島団地地区に幼年消防クラブを結成した。（北広島かおり幼稚園）
平成２９年１０月　北広島団地地区に幼年消防クラブを結成した。（認定こども園北広島わかば幼稚園）

過　去　の　主　な　災　害　記　録

明治３１年　９月　７日	中の沢に水害が発生した。
大正　３年　８月～９月	中の沢地区に水害が発生し、水１０尺余、被害面積３００町歩余、被害総額３，４３４千円。
昭和１４年　４月	児童福祉施設天使の園が全焼１９７坪を焼失した。原因は失火。
昭和１５年　４月２４日	広島市街の大火。１６戸２８棟焼失し近隣の消防の応援を受けた。原因は不明。
昭和２１年　４月	中の沢地区に水害が発生した。６０４町歩が冠水し、被害総額６，０３０千円。
昭和２３年　４月　７日	吉本宅及び杉山宅の２戸１棟が全焼し、２２．５坪が焼失した。
昭和２５年　８月　１日～３日	開村以来の水害。降雨量３００㎜を超え、広島市街及び中の沢地区にかけ被害が発生し、家屋流失、半壊１３棟等で被害総額３１，８７７千円。
昭和２７年　７月　２日	富ヶ岡学園の寮舎４５４坪のうち２１０坪が焼失した。恵庭・島松消防、警察予備隊の応援を受けた。
昭和２９年　９月２６日	台風１５号で死者１名、建物全半壊３４０棟、農林等被害総額６６，３００千円。
昭和３０年１２月	光顕寺本堂１００坪が全焼した。原因はロウソク。
昭和３４年　９月	中の沢地区と各河川流域で水害が発生した。被害面積５００町歩、特に土木農林施設に被害が多く、被害総額は９，０３７千円。
昭和３７年　８月	台風第９号及び第１０号の影響により中の沢地区が冠水した。
昭和３９年　６月	集中豪雨により中の沢地区が冠水した。
昭和４０年　９月	台風第２３号の影響により中の沢地区が冠水した。
昭和４３年　５月	十勝沖地震により全村に被害があり、特に集合煙突の倒壊が目立った。震度は４．５から５と推定される。
昭和５０年　８月２２日～２３日	台風第６号の影響により水害が発生し、輪厚川及び千歳川が氾濫した。被害面積５０６ヘクタール、被害総額１９２，２２９千円。
昭和５６年　８月　３日～２３日	約３週間に渡り、台風第１５号及び第２３号の影響と雨の影響で島松川及び輪厚川の堤防が決壊した。
昭和５９年　６月　２日	大曲にある病院の職員送迎バスが野津幌川に転落し、看護婦ら３６名が重軽症を負った。
昭和６２年　８月２５日～２６日	台風第１２号の影響で豪雨（２９８㎜）があり、土木及び農業施設に被害が発生した。被害総額１６２，１３３千円。

平成　２年１０月　７日	町立の中学校で火災が発生し、校舎１３７平方メートルが焼失した。被害総額２１，１００千円。
平成　３年　８月　９日	南里酪農家の牧草収納庫から出火、牛舎、物置等４棟が全焼した。被害総額５３，０６２千円。
平成　５年　９月１３日	大曲工業団地で倉庫の全焼火災があり、鎮火まで約１０時間を要した。被害総額４２０，１５０千円。
平成１６年　９月　８日	台風第１８号の影響により突風で飛ばされるなど４名の市民が重軽症を負う。また野菜の倒伏、街路樹の倒木等の被害が発生した。被害総額１４０，２４７千円。
平成３０年　９月　５日	台風第２１号の影響による倒木撤去作業中に２名の市職員が重軽症を負う。また、屋根の飛散、物置の倒壊、街路樹の倒木等の被害が発生した。
平成３０年　９月　６日	北海道胆振東部地震により、市内において震度５弱を観測、７名の市民が重軽症を負う。また、市内全域で停電が発生、住家被害は２９３棟に及んだ。